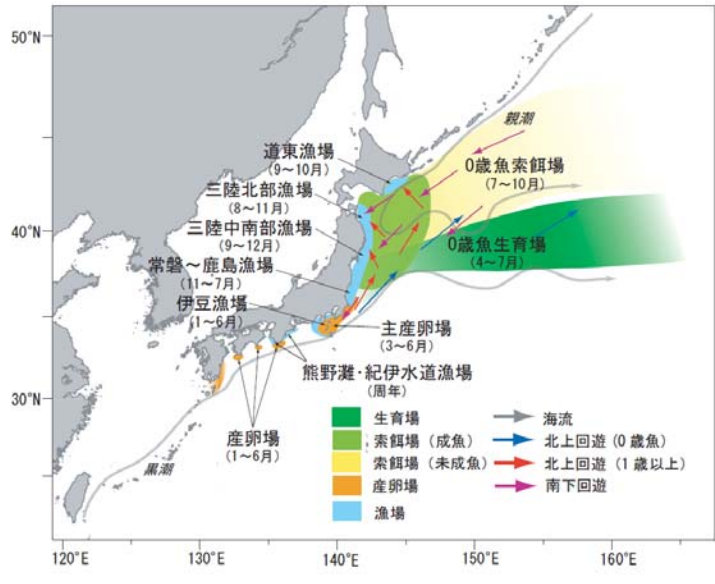




マサバ ゴマサバ 平成29年度資源評価結果

マサバ太平洋系群 平成29年度資源評価結果

マサバ太平洋系群の生活史と 漁場形成模式図

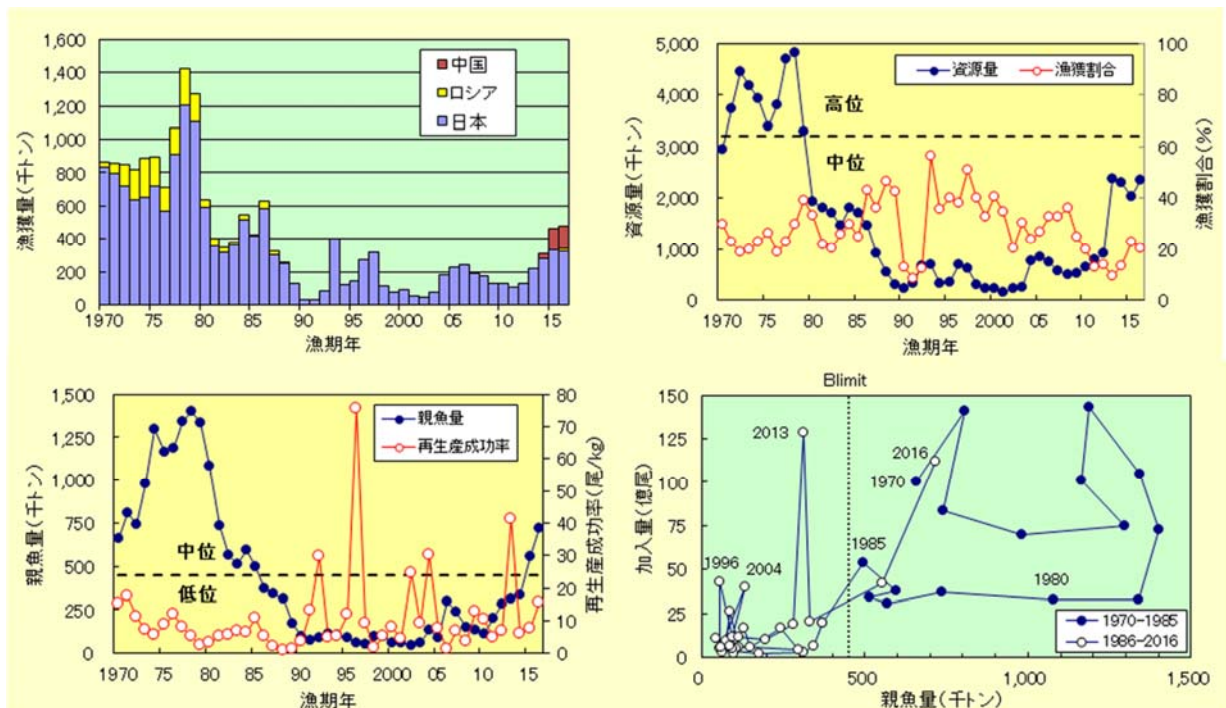


- 生物学的特性**
- 寿命：7~8歳 (最高11歳)
 - 成熟開始年齢：2歳 (50%)、3歳 (100%)、年により異なる
 - 産卵期・産卵場：1~6月、主に伊豆諸島周辺海域 (3~6月)、他に足摺岬、室戸岬周辺や紀南などの太平洋南部沿岸域や東北海域
 - 索餌期・索餌場：夏~秋季、主に三陸~北海道沖
 - 食性：稚魚は動物プランクトン、幼魚以降はカタクチイワシなどの魚類やオキアミ類などの甲殻類、サルバ類など
 - 捕食者：サメ類などの大型魚類、ミンククジラ

資源量の推定方法

- 7～翌年6月の漁期を年単位とする年齢別漁獲尾数を使ったコホート解析により資源量を推定
- 最近年の漁獲係数は、親魚量および加入量を反映すると考えられる指標値を用いてチューニングを行って推定
- 外国(中国、ロシア)の漁獲物についてすべてNPFCの報告をもとに解析に含めた。

3



2016年 漁獲量: 48万トン(中国、ロシア含む)
 資源量: 235万トン
 親魚量: 72万トン(Blimit=45万トン以上)

4

資源評価のポイント

- 資源水準

高位と中位の境界

資源量の最高～最低値の上位3分の1程度に相当する資源量320万トン

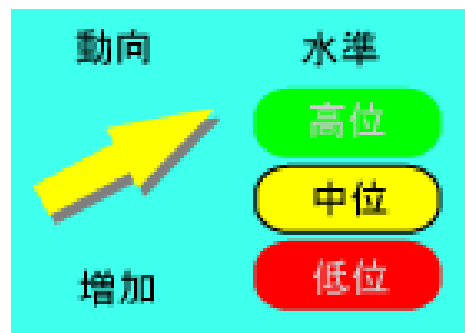
中位と低位の境界

Blimit

- 資源動向

過去5年の親魚量の推移

- 資源水準は中位、動向は増加



5

管理方策

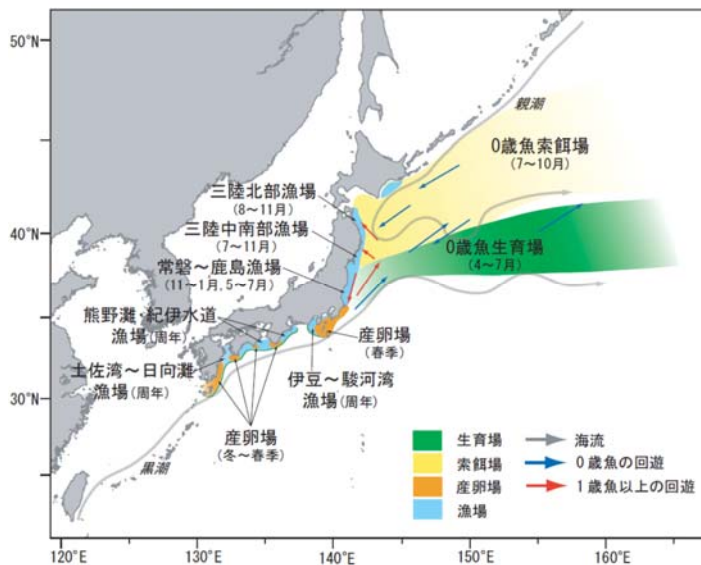
資源量(2018)=2,335千トンを仮定、親魚量(2016)=716千トン、Blimit=450千トン

漁獲シナリオ (管理基準)	Target/Limit	2018年漁期 ABC (千トン)	漁獲割合 (%)	F値 (現状のF値 からの増減%)	2023年の 親魚量 (千トン) (80%区 間)	確率評価(%)	
						2023年に 2016年 親魚量を維 持	2023年に Blimitを維 持
親魚量の 増大 (F30%SPR)	Target	386	17	0.28 (-40%)	1,222 (809~ 1,584)	96	100
	Limit	463	20	0.35 (-25%)	920 (611~ 1,295)	76	99
親魚量の 維持 (Fmed)	Target	417	18	0.31 (-35%)	1,094 (725~ 1,471)	91	100
	Limit	498	21	0.38 (-18%)	805 (542~ 1,122)	58	98
		2018年漁期 算定漁獲量(千 トン)					
現状の漁獲 圧の維持 (Fcurrent)	Target	490	21	0.37 (-20%)	831 (542~ 1,145)	65	98
	Limit	581	25	0.47 (±0%)	579 (377~ 808)	21	74

6

ゴマサバ太平洋系群 平成29年度資源評価結果

ゴマサバ太平洋系群の生活史と 漁場形成模式図



生物学的特性

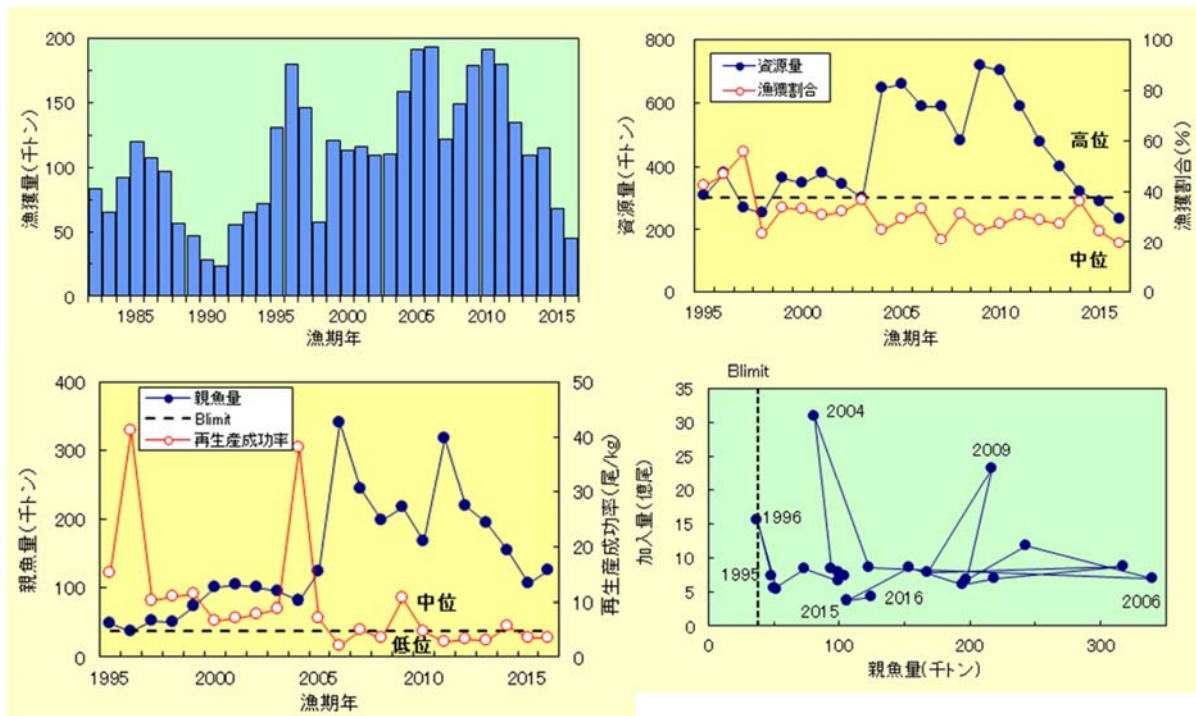
- 寿命：6歳程度
- 成熟開始年齢：2歳（100%）
- 産卵期・産卵場：12～翌年6月、伊豆諸島周辺以西の黒潮周辺域
- 索餌期・索餌場：夏～秋季、常磐～房総半島以西沿岸、一部は三陸～道東沖まで回遊
- 食性：仔稚魚期には浮遊性甲殻類、イワシ類のシラスなど、幼魚期以降は浮遊性甲殻類、小型魚類、イカ類など
- 捕食者：幼魚期まではカツオなどの大型魚類等

7

資源量の推定方法

- 7～翌年6月の漁期を年単位とする年齢別漁獲尾数を使ったコホート解析により資源量を推定
- 最近年の漁獲係数は、加入尾数および親魚量を資源量指標値に適合させるチューニングを行って推定

8



2016年 漁獲量: 4.5万トン
 資源量: 23.4万トン
 親魚量: 12.5万トン(Blimit=3.8万トン)

資源評価のポイント

- 資源水準

高位と中位の境界は、分布域が太平洋北区
 (千葉県以北)へ顕著に拡大して、北区での漁獲
 が増加する水準である資源量30万トン

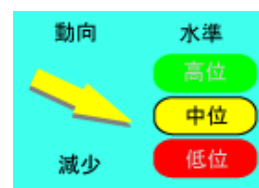
中位と低位の境界

Blimit

- 資源動向

過去5年の資源量の推移

- 資源水準は中位、動向は減少



管理方策

資源量(2018)=323千トンを仮定、親魚量(2016)=125千トン、Blimit=38千トン

漁獲シナリオ (管理基準)	Target/Limit	2018年漁期 ABC (千トン)	漁獲割合 (%)	F値 (現状のF値 からの増減%)	2023年の 親魚量 (千トン) (80%区間)	確率評価(%)	
						2023年に 2016年 親魚量を維持	2023年に Blimitを維持
親魚量の増大 (F30%SPR)	Target	63	19	0.41 (-25%)	202 (87~343)	65	100
	Limit	75	23	0.51 (-7%)	169 (68~309)	48	100
現状の漁獲圧の維持 (Fcurrent)	Target	66	21	0.44 (-20%)	192 (79~318)	62	100
	Limit	79	25	0.55 (±0%)	159 (60~278)	41	100
親魚量を Blimit以上 で維持・漁獲量の増加 (F20%SPR)	Target	89	28	0.64 (+16%)	136 (51~219)	29	98
	Limit	105	32	0.80 (+45%)	102 (33~168)	17	85